

うじいえ自然に親しむ会との『カワラノギク交流会』で学んだこと！！

2013年10月9日(水)～10月13日(日)
相模川湘南地域協議会 記録:中門吉松

10/12(土)～13(日)さがみ地域協議会事業”鬼怒川のカワラノギク観察会・交流会”に相模川湘南地域協議会から3名が参加しました。
鬼怒川中流域さくら市の東京大学カワラノギク実験地では、カワラノギク観賞、シナダレスズメガヤ抜き取り作業を体験して参加団体との交流を深めた。

2013年 10月 13日(日)

集合場所
東京大学カワラノギク
実験地(氏家病院の
西側鬼怒川河川敷)

○シナダレスズメガヤ抜き取り作業
10:00～11:00

○カワラノギク観察会
11:15～11:45 ※小雨決行

講師 鷺谷いづみ教授(東京大学大学院教授)

○勝山鍋 12:00～12:45

場所 勝山城址西側
みはらし あずま屋

○参加団体との情報交換会
13:00～14:30

**申込み不要
参加費無料**

参加対象は会員の他、
どなたでも参加できます。
持参するものは、帽子、
タオル、軍手、おにぎり、
飲み物等です。

うじいえ自然に親しむ会事務局
さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-内 さくら市氏家1297番地 TEL029-682-7123



【説明】 東京大学・石井特任助教

『東京大学カワラノギク実験地』前の河原で「カワラノギク保全・シナダレスズメガヤ除去」の説明



【説明】 加藤会長

シナダレスズメガヤ除去(抜き取り)前に道具(ピックマトック)の使用方法について説明された



カワラノギク実験地前の看板
相模川でも設置可能でしょうか？



シナダレスズメガヤ除去と合わせて、今年大繁茂した在来植物の『カワラヨモギ』を参加者全員で抜き取りした

**さがみ地域協議会主催の『鬼怒川中流域カワラノギク観察会・参加団体交流会』に参加
相模川湘南地域協議会参加者 (3名)**

**峯谷代表・神谷さん・中門
有意義な交流会でした。**

『うじいえ自然に親しむ会』の女性会員が準備した「勝山鍋」を賞味しながら昼食歓談・さくらミュージアムでの団体交流会

昼食を取りながらの歓談では、加藤会長・松田副会長から『うじいえ自然に親しむ会』の活動について詳細な説明があった。



勝山城址見晴台の休憩所で昼食歓談
活動の紹介される加藤会長



鬼怒川中流域の河原を見ながらさくら市の自然環境と保全活動紹介される松田副会長



参加10団体の活動紹介と意見交換会、相模川での活動紹介するさがみ地域協議会有井代表

*** 鬼怒川中流域・「東京大学カワラノギク実験地」、「うじいえ自然に親しむ会」交流会から学んだこと***

- ①自然の中で大雨などによる出水で礫河原が再生されることのない場所では、多年生草木や低木がみられカワラノギクが減少し個体群が衰退していく。
- ②実験地では平成14年造成してから一度の冠水を見ただけのことから、礫河原が自然再生できない場所では自然に変わり人的再生が必要となる。
- ③自然再生されても外来種シナダレスズメガヤ等の侵入によりカワラノギク個体群が減少するので、シナダレスズメガヤ等の除去を継続して行う必要がある。
- ④礫河原の継続が難しい環境でのカワラノギク保全・再生は、保全地を複数箇所維持することで予期せぬ要因でのカワラノギク消滅を救うことが可能である。



平成14年造成、11年目の実験地

杭から右側が実験地



平成14年造成

再生2年目



再生工事後、2年目の実験地
(鬼怒川は相模川より2週間程度開花が早)